



いきいきふるさと

発行/古里住民自治協議会 発行者/金子祐三 編集/広報委員会 第62号

都市計画道路北部幹線の開通について

古里住民自治協議会長 金子祐三

長野市の都市計画道路北部幹線は、国立長野高専南側から古里小学校南東の信号までの1.2kmが開通目前となりました。長野市北部地域を東西に結ぶ幹線道路であり、古里地区としましては長い間待ち望んでいた道路であります。利便性が格段にアップし、沿線の活性化と共に地域産業の発展が大いに期待されております。開通予定は、令和3年2月28日(日)に開通式を行ない、終了後ただちに供用開始となる予定です。北部幹線が接続する県道は北部幹線に比べ道路幅員が狭隘で、朝夕の通勤通学の時間帯は一層の渋滞が懸念されております。また、近隣の生活道路の車が増えることも予想され、十分な注意が必要になってくると思われます。古里小学校南東の信号より東への先線の早期着工も懸念事項です。そ



長野市都市政策課 提供

の他課題として考えら

れることは市当局へ課題解消について申し入れをしておりますが、開通までに出来る対応策は実行してもらえよう一層強化したいと思います。

一般的に主要道路が新設されることで人の流れや車の流れが変化し、地域が一変することとも言われております。古里地域がどのように変化するか予想できない面もありますが、開通後に思わぬ課題が浮上してくることもあります。その際は十分な検討を行ない当局に要望して参ります。



駒沢第二団地仮設住宅植栽事業

昨年の台風19号により住宅が被災された皆さんが、駒沢第二団地の仮設住宅(トレーハウス15戸)に入居されています。古里住民自治協議会では、入居されている皆さんと地域住民の交流の場として、「いっしょに花を植えませんか」と呼びかけ、プランターへの花植えを行ないました。7月16日に仮設住宅の談話室周辺で、プランター10基にマリーゴールドなど6種類の苗を1時間ほどで植込み、トレーハウス入口などに飾りました。約30名の皆さんで花の植込みを行ない、入居されている子供連れの家族の参加もあり、



参加者お互いのふれ合い・交流の場になりました。被災地区や仮設住宅設置地区に、市が助成を行なう「復興支援事業」を活用した事業ですが、地元の第二団地区・植栽ボランティア団体・障害者支援施設などの皆さんや市支え合いセンターのご協力により花植えが出来たことに感謝申し上げます。10月に2回目を行ないます。



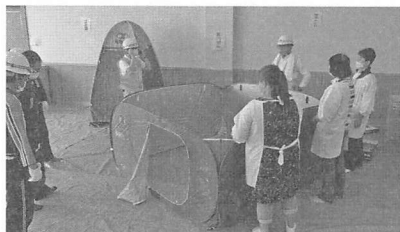
「はつらつ・ミニ体操」で身体も心もの～びのび!!

長野市では立つて行う運動が難しい方や、運動時間が長いと困難を感じる方むけに「はつらつ・ミニ体操」の動画を作成しました。古里住民自治協議会ではこの動画のDVDを、各区に配布しましたので、お茶飲みサロンや皆さんが集まる機会にご活用下さい。椅子や床に座ったままで短時間に体操ができますので、毎日少しずつの体操で元気を維持しましょう!!足腰の強さを保つための「はつらつ体操」は「長野市のホームページ」で配信していますのでご利用下さい。

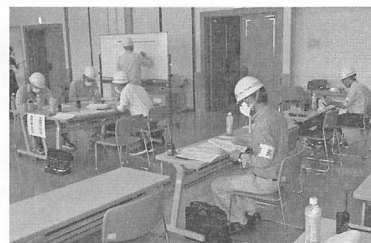


住自協防災訓練を実施

令和2年度の古里住民自治協議会防災訓練を、8月22日(土)に実施しました。本年は、新型コロナウイルス感染防止のため、市民センターの災害対策本部への参集者を少なくし、各区は公民館等に現地災害対策本部を開設し、主に情報伝達訓練を行いました。情報伝達訓練では、各区の現地災害対策本部と簡易無線機で情報交換を行うとともに、昨年の台風19号災害時に協力していただいたアマチュア無線クラブ「ネット古里」と連携した情報交換を行いました。また、市民センターの多目的ホールでは古里支所の説明により、避難所の簡易間仕切り設置訓練等を行いました。段ボールベッドの展示・説明も行われました。消防団、赤十字奉仕団、「ネット古里」の皆様にご協力をいただき、感謝を申し上げます。



簡易間仕切りの組立(多目的ホール)



災害対策本部(多目的ホール)



現地災害対策本部(富竹区)

市政出前講座「ごみ・資源物の分別とリサイクル」

7月30日(水)午後7時より、環境整美委員会主催による市政出前講座が古里総合市民センターで開催されました。長野市環境部生活環境課から講師をお迎えし、各地区より31名の方が参加されました。参加者から日頃発生する問題や質問等が多く出され、有意義な講座となりました。以下に主な分別上のポイントを記載しますが、判断に迷ったら昨年度、各戸に配布した「家庭用 資源物とごみの出し方 保存版」で確認してください。



① プラスチック容器包装を正しく分別→再確認して!

商品が入っていた「容器」、包んでいた「包装」が対象、使い切って洗って出す。

※プラスチック製品そのもののうち硬いものは不燃ごみへ、やわらかいもの(長靴・スポンジなど)は可燃ごみに出す



収集日に取り残されている物の中には、洗面器や荷物梱包用の硬いテープ、汚れ落とし用のスプレー容器等があり、さらにレジ袋に入れて見えないようにしてある場合があります。



② カセットボンベ、スプレー缶等は必ず使い切って、穴をあけて、缶の日に出す→ごみ収集車火災の原因となる!

※石油ストーブ・ライターは、燃料や電池を抜いて、不燃ごみかサンデーリサイクルへ



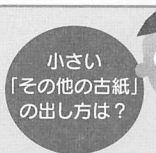
燃料・電池は抜く
(本体に残った
燃料も完全に抜く)

油フィルターを外して



灯油を抜く

③ 紙は分ければ資源、「その他の古紙」を分けよう→長野県はごみの少なさ日本一!



①家庭のごみ箱の横などに「その他の古紙」用の紙袋や古封筒を用意



②古紙を入れていき、いっぱいになったらひもでギュッとしばる



③古紙類として回収場所へ出す(市による回収、集団資源回収など)



細かな段ボールを可燃ごみ袋に入れて出しているのを見かけますが、紙は重要な有限資源です。世界の森林を守るためにも住民一人一人が、わずかな紙でも資源として活用できる地域づくりが必要です。

お知らせ

今まで中止やむなきとなった事業一覧

当初予定	行事名	当初予定	行事名
令和2年6月20日	ホテル観賞会	令和2年8月30日	地域親善球技大会
令和2年7月27日	青少年健全育成視察研修会	令和2年9月05日	健康づくり講演会
令和2年8月01日	介護予防講演会		

そのほか、各区においても、育成会行事・盆踊り・お祭りなどが中止または縮小となった、今年の夏でした。残念ですが、今はコロナ終息に向けて、3密の回避・マスク着用などに配慮し、できることを行っています。

